

こんにちは！

回覧

西箕輪保育園です



平成 29年 2月 20日

地域の皆様こんにちは！日頃より、大変お世話になっております。立春も過ぎ、春の訪れが楽しみな今日この頃です。保育園では、年度末を迎え一年間の子どもたちの成長を振り返りながら、一日一日を大切に過ごしています。

自然・物・人との関わり

四季移り変わる園庭で…

子どもたちは、生活や遊びの中で、自然や物や人に直接かかわって、その体験から生まれる“気づき”を深めながら学んでいます。西箕輪保育園の、草木の茂る斜面のある園庭は、四季を通じて子どもが学べる材料がたくさんある宝の山です。春夏は、草花や昆虫を採って楽しむだけでなく、「どうしてここにカブトムシが集まるんだろう？」「アリの巣の中はいったいどうなっているんだろう？」そして、いまの季節は、「そり滑りで遠くまで滑るには、どんな姿勢がいいんだろう？」「1人より2人で滑った方が、スピードが出るのかな？」など、子どもたちの“気づき”がいっぱいあります。そんな子供たちの探求心を見逃さず、「ほんとに不思議だね。」「どうしたらいいんだろうね。」と共感しつつ、ちょっとしたヒントをさりげなく伝える関わりを大切にしつつ、子どもたちの学びが深まるようにしています。



木育活動を通して…

自然・人・物との関わりの一つとして、木育活動を楽しみました。地域の方や市内の木工職人さんが来てくださり、自然素材や地域材を活用した制作活動をさせていただきました。事前に描いた設計図を基に、たくさんの材料を組み合わせ、グルーガン、カナツチ、のこぎりなどの使い方を教えていただきながら、夢中でたのしみました。設計図以上のアイデアが、次から次へと浮かび、私たちも驚くほどの発想力を見せてくれた子どもたち。自分で考え、自由に作る経験は、子どもたちの学びへの力（工夫する、試してみるなど）につながったのではないかと思います。



地域の皆さんとの交流



メの子作り



みはらしファームの方々、地域の方々のご協力をいただき、年長さんがメの子作りに挑戦しました。“縄をなう”のは初めての事。リボンの三つ編みのようゆっくり丁寧に作りました。出来上がったメの子に、それぞれの願いを書いた短冊を付けみはらしファームに飾っていただきました。

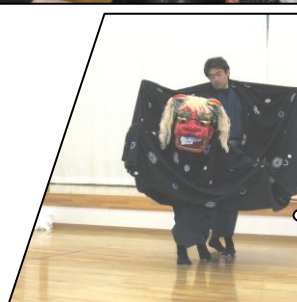
お餅つき大会

「保育園を育てる会」の方にお手伝いいただき、本物の杵と臼でお餅つきをしました。ぺったん、ぺったん・・・時々、臼をたたいてしまうこともありましたが、上手につけました。つきたてのお餅は最高においしかったです。



羽広の獅子舞

「羽広の獅子舞保存会」の方々が1月の誕生日祝いに駆けつけてくださいました。すぐ目の前に迫る獅子に怖くて泣き出すお友だちもいました。「お獅子に頭を噛んでもらうと、いいことがあるって」とのこと、怖いけど頑張った子どもたちです。今年はきっと良いことがあるね。



かっこいいお獅子の舞。
僕も大きくなったらや
りたいな・・・